

KiKiの広場

2018年 4月 1日

cafe NO.90
KiKi



あっという間に春がやってきました。ていうか、「夏か!」という日もありますね。(笑) 昨年の今頃はまだ蕾だった真締川の桜も満開です。そしてこの春も、「ヒストリア字部」では別れと出会いがありました。学生スタッフの青年2人がそれぞれ夢に向かって旅立ち、また新しい学生さんが仲間入りしました。公共施設ということで勝手も違い戸惑うこともあると思いますが、これから経験する良いことも悪いことも含め、自分にとって今後生きる時間になるよう、一緒に頑張っていけたらと願っています。みなさま、どうぞよろしくお祈りします。

4月の予定

休館日	10日(火)
定休日	毎土・日曜日
臨時休業日	6日(金) 9日(月) 20日(金) 30日(月)



「今月のケーキ」…「桜モンブラン」350円

宇治抹茶スポンジの上に、桜の葉入りホイップクリームを乗せ、ホワイトチョコレートと白あんに合わせた桜色クリームで包んでいます。トップには塩漬け桜花が飾られ、この季節ならではの可愛いケーキです。



今月のお気に入り…「あっという間に春がきた!」

～「999ひきのきょうだいのほるですよ」「ねこのなまえ」「なののはなみつけた」「さくら子のたんじょう日」「おはよう」など～



おたまじゃくしのねぼすけのお兄ちゃんが主役の「999ひきのきょうだいのほるですよ」は、わくわくうきうきする春そのもの。新しい季節の始まりをほのぼのと感じます。そして、「ねこのなまえ」。主役のさっちゃんが気持ちのいい春の午後に一匹のねこと出会ったことから、名前について改めて考えさせられるお話です。ねこから名前をつけてほしいと頼まれて、一生懸命考えるさっちゃん。名前をほしいと思う気持ち、そしてつけてもらった名前を何度も呼んでもらって何度も嬉しそうに答えるねこ。思わず涙が出そうなくらいあたたかい気持ちになりました。さて、さっちゃんがつけた名前とは?



今月の本棚…「おひめさまがいっぱい!」

～「ちいさなおひめさま」「おどる12人のおひめさま」「たくさんのお月さま」「えんどうまめの上のおひめさま」などなど～



女の子が大好きなおひめさまの絵本を集めてみました。「ちいさなおひめさま」は、角野栄子さんと西巻茅子さんの作です。大きなお城に1人で住むおひめさまには13人のお手伝いさんがいて、おひめさまの世話は全てやってくれます。私が笑ってしまったのは、「おひめさまのすることは、朝ぱっちり目を開けることと、夜ぱっちり目をつぶることだけです。そうそうトイレには1人で行きましたけどね。」というところ。1人になりたいおひめさまが思いついたこととは? かわいいお話と絵、途中で出てくるなぞのおばあちゃんのその後の行方が気になる楽しいお話です。グリムの「おどる12人のおひめさま」は、なぜ12人のおひめさまの靴が毎夜ボロボロになるのか謎が謎を呼ぶ不思議なお話と共に、エロール・ル・カインが描く繊細で美しい挿絵に引き込まれます。1人1人のドレスはため息が出るほど素敵です。



胡蝶蘭その7…3度咲き成功!! 日に日に蕾が大きくなっていましたが、ついに3月14日に1つ目が開き、その後次々と花開き、今は10個咲いています。蕾もあと6個あります。あわよくばという思いで10月に思いきって枝を切り見守ってきましたが、こうしてきれいな花を咲かせているのを見ると、つくづく植物の持つ生命力というものを感ずります。1つの鉢にこれほど思い入れ込んだこともないですが(笑)、3年越しに付き合っていると、根がたく鉢からはみ出すほど良く伸びてきているのがわかります。本来は着生植物で土壌に根をおろさず、他の木の上や岩盤などに根を張って生活するそうです。学名の種小名の由来は、春の女神でもあったというギリシャ神話の愛と美と豊穡の女神「アフロディーテ」からきているとか。美しさとたくましさ、まさに今ここにある胡蝶蘭にピッタリって感じですね。

